

# さとにきたら ええやん

4/17  
(土)

監督・撮影：重江良樹 音楽：SHINGO★西成 プロデューサー・構成：大澤一生（「原る人」「フリーダ・カーロの逢品～石内都、暮るように」） 編集：辻井深（「原る人」「イラク テグリスに浮かぶ平和」）  
音響構成：渡辺文彦（「ルンタ」「夏の雨レバー-小体製録30産」） 制作協力：神宮良輔（ふとっちょの木）、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川隼 機材協力：ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力：小谷忠典  
助成：栃文化庁文化芸術振興費補助金 企画：ガーラフィルム 宣伝・配給協力：ウッキー・プロダクション 製作・配給：ノンドライコ 2015 | 日本 | 100分 | カラー | 16:9 | 5.1ch | DCP

栃木県障害者差別解消推進条例施行2周年記念



## とちぎユニバーサルシアター「さとにきたらええやん」

### 重江監督が来るよ!!

【後援】栃木県、宇都宮市、栃木県教育委員会、栃木県社会福祉協議会、朝日新聞宇都宮総局、読売新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、下野新聞社、NHK宇都宮放送局、とちぎテレビ

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」……。人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー!

#### ユニバーサルシアターって!?

みんなで一緒に映画を楽しめるように対応して映画上映を行います。

- ・イヤホン音声ガイドによる場面説明があります。
- ・日本語字幕付きです。
- ・車椅子スペースがあります。
- ・親子鑑賞室があります。



さとにきたらええやん。

# いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの“さと”



大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子…そして親や大人たちも休憩できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながらともに立ち向かう姿を追いました。



重江 良樹  
「さとにきたらええやん」監督  
1984年、大阪府出身。  
ビジュアルアーツ専門学校  
大阪卒業後、映像制作会社  
勤務を経てフリー。  
2008年に「こどもの里」にボ  
ランティアとして入ったことが  
きっかけで2013年より撮影し  
始める。本作が初監督作品。

## 参加申込書

fax 028-333-1310 添書不要です

もしくは [sstochigi@gmail.com](mailto:sstochigi@gmail.com) 必要事項を明記して送信してください。

\*定員（午前午後とも60名）に達した際や当日悪天候の際にご連絡いたします。連絡先の電話番号をご記入ください。

	お名前	参加希望に○をつけてください		連絡先
		午前	午後	
1				
2				

《お問い合わせ》上記メールもしくは 090-1838-5625 (中田) \*17時以降にお願いします。当日もこちらに

ショートメール可

日時

2018年

4月7日(土)

午前の部

10:00~11:45 上映会

11:50~12:10 重江監督トークイベント

午後の部

14:00~15:45 上映会

15:50~16:10 重江監督トークイベント

会場

とちぎ福祉プラザ2階 第2研修室  
(宇都宮市若草1-10-6)

参加費

1,000円 (18歳以下無料)

胸がいっぱいになりました。いつの時代もどこの世界も子どもたちにとって大人の影響は大きいですね。大人の生き方を問われているように思います。子どもたちの笑顔があふれるように大人たちが生きていかなくてははいけませんね。

前回参加者の感想

さまざまな家庭の事情で親と暮らせない子どもたちが抱える思いや問題を知り、序盤、悲観的になっていましたが、彼らの成長と未来に進む姿にとっても勇気づけられました。

栃木県障害者差別解消推進条例施行2周年記念  
とちぎユニバーサルシアター「さとにきたらええやん」

〔開催要項〕

- 1 趣 旨 (1) バリアフリー対応により多くの人と映画を楽しむ。  
(2) 子どもたちが向き合う「現実」「生きづらさ」について知り、「支援」の在り方について考える。
- 2 主 催 みらい・ともに・すすむ
- 3 後 援 栃木県，宇都宮市，栃木県教育委員会，栃木県社会福祉協議会，栃木県民生委員児童委員協議会，朝日新聞宇都宮総局，読売新聞宇都宮支局，毎日新聞宇都宮支局，下野新聞社，NHK宇都宮放送局，とちぎテレビ
- 4 期 日 平成30年4月7日（土）
- 5 場 所 とちぎ福祉プラザ（宇都宮市若草1丁目10番6号）
- 6 参加者 一般の方
- 7 内 容  
10：00～11：45 「さとにきたらええやん」上映会  
11：50～12：10 重江良樹氏（「さとにきたらええやん」監督）  
トークイベント  
14：00～15：45 「さとにきたらええやん」上映会  
15：50～16：10 重江良樹氏トークイベント
- 8 ユニバーサル上映対応
  - ・イヤホン音声ガイド付き
  - ・日本語字幕付き上映
  - ・車椅子スペースの設置
  - ・親子鑑賞室の設置
- 9 参加費 1,000円（18歳以下無料）  
\*余剰金が生じた場合は、すべて障がい児者支援団体等に寄付をする。
- 10 申込み fax やメールにて受け付ける。

## ユニバーサルシアターとは？

ユニバーサルシアターとは、映画を鑑賞する上でさまざまなアクセスバリアをかかえた人たちとともに映画を楽しむことができるよう環境を整えた上映会のことです。

目の不自由な方々は映画の場面説明を聞くことができる音声ガイドがあれば映像を想像しながら楽しむことができます。また、耳の不自由な方々も、邦画に字幕をつけるなどの環境を整えれば、邦画を楽しむことができます。

このような音声ガイドや字幕は、学習障がいの方や、見えにくい、聞こえにくいお年寄りにも映画鑑賞をサポートするツールにもなり、特に視聴覚に障がいのない一般の方々にとっても、映画を「よりわかりやすく」鑑賞するためのツールとなることが分かります。

わたしたちのユニバーサルシアターには小さなお子さま連れの方も多く参加をしています。小さなお子さんが一緒では映画館でゆっくり映画を楽しむことができない現状のようです。そのような方にも対応した別室を用意して映画を楽しんでもらっています。

## とちぎユニバーサルシアターでは以下のような対応をしています(これまで9回開催)

- ① 日本語字幕対応
- ② 映画の場面説明を聞くことができるFM音声ガイドの無料貸出
- ③ 開会あいさつや上映説明の手話通訳
- ④ 車いすの方などのスペース確保
- ⑤ 小さなお子さん連れの方のための別室上映(通常の会場もやや明るめの照明)
- ⑥ アプリ(UDトーク)による講演会内容の字幕表示、もしくは手話通訳

## 今後の課題

- ① ユニバーサル対応についての周知
- ② ユニバーサルシアターについての周知